

リーディングDXスクール事業【実践事例】

西脇市立日野小学校（兵庫県）【指定校】

【取組内容】 授業シートの活用

事例のポイント

授業シートを使うことで、児童のつまずきに気づき、個に応じた支援につなげるとともに、児童が他者から学びを得るための手段とする。

1. 取組の内容

児童は「進行中」「完了」「質問」など選択メニューで進捗を報告する。教師は、個々の進捗を確認しながら、児童に適宜声をかけたり、支援したりする。また、児童は他者の進捗を確認することで、協働して学習したい相手を選ぶことができる。

教師は児童のまとめを価値づけし、児童は他者参照しながら、自らの学習にフィードバックできるようにする。

	名 前	③	④	まとめ	
		完了	完了	・①の中でも、優先順位がある。・1位が①で2位が②×3位が③。	58
18		完了	完了	①の中でも優先順位がある。教科書の問題では ① の中に引き算とわり算があつて①の中でも強いほうから計算していく。	57
19		完了	完了	÷と÷が重なったら先にある÷から計算するんだと思いました ①の中でも①の中じゃなくて①のきまりはおなじだと思いました	230
20		完了	完了	①の一番に引き算があつたとしても割り算のほうが強いから割り算からする。かっこがあつたとしてもきまりにはかてらいからだしさんやひきさんがさきにあつたとしてもわりさんやかけさんのほうがつよくなるからわりさんやかけさんからする。	151

2. 取組の成果

- 児童の進捗が即時に把握でき、状況に合わせた細やかな支援ができる。
- 一覧表示することで児童が意見交換等したい学習相手を選びやすい。
- 声に出して意思表示することが苦手な児童も質問がしやすい。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

西脇市立日野小学校（兵庫県）【指定校】

【取組内容】教科書読解の指導及び1人1シートの使用

事例のポイント

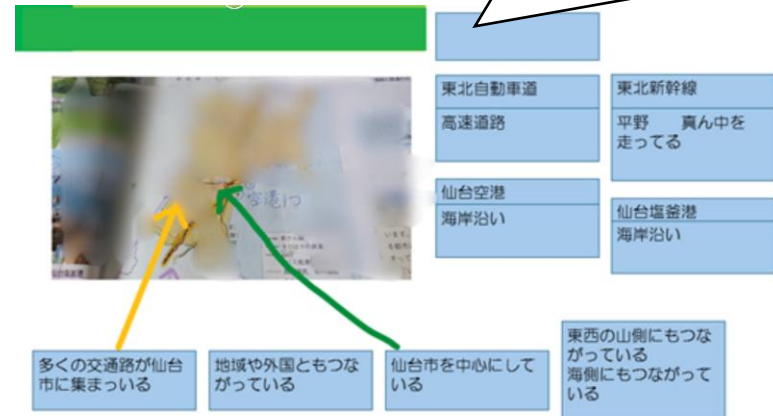
教科書等から正しく情報を得て、自分の考えをまとめる力を育成する。

1. 取組の内容

児童に教科書の見方を教え、児童は資料と本文を結びつけたり、キーワードを抽出したりしながら、教科書から情報を収集する。



1つのファイルの中で1人1シート(スライド)を準備し、児童それぞれが収集した情報を個人のシートでアウトプットする。アウトプットした情報は分類したり関連づけたりしながら整理・分析し、学習したことを自分なりにまとめる。

2. 取組の成果

- 継続的に行うことで、情報を正しく読み取り、それらを整理・分析しながらまとめる力が身につきつつある。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

西脇市立日野小学校（兵庫県）【指定校】

【取組内容】 家庭学習（音読）のデジタル化

事例のポイント

全学年が宿題として出している音読をデジタル化することで、児童それぞれの特性に応じた支援とする。

1. 取組の内容

児童の実態に合わせて、家庭での音読の様子を端末で撮影し、クラウド上に提出する。

① 対象：A児（場面緘黙児）

家庭においては話すことができるが、学校では声を出すことが難しく、教師が音読を聞くことはできない。

② 対象：B児

文字を読むことに課題があることに加え、家庭での学習習慣が身についておらず、毎日音読をきちんとしているかどうか確認できない。



2. 取組の成果

- 児童の実態に合わせた支援の幅が広がる。
- 学校では声を出すことが難しい児童の音読を聞くことができ、フィードバックができる。
- 課題提出後、AIがすぐに分析し、正解率を出してくれるため、児童の音読意欲の向上につながる。